

武庫川流域運営委員会
委員長 松本 誠 様

平成 17 年 3 月 10 日

ワーキンググループについて

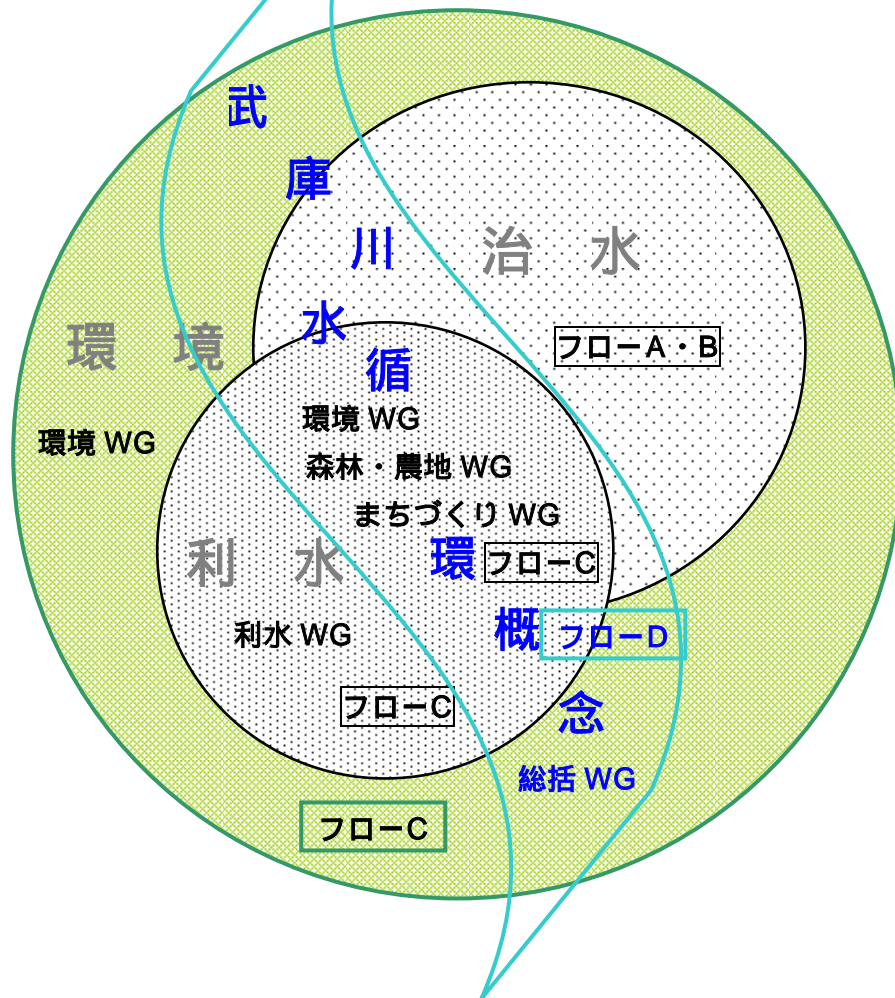
委員 佐々木礼子

作業フローに基づき、委員会では着々と議論が進んでおります。並行して作業を始めるといことでそれぞれワーキンググループが立ち上がりましたが、いざ作業を進めるとなると、以下の問題点が生じ、調整を図らずして前には一歩も進めません。そこで、作業を解り易くし、合理的に効率よく進めるため、村岡委員と協議の上、添付資料の概念図を作成しました。以下の問題点を含め、運営委員会にてご議論ください。

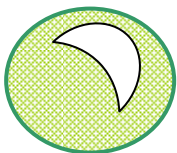
<問 題 点>

1. 新河川法を意識して最終的にどのようなとりまとめにするのか ... 資料：概念図
・治水を第一に考えるが、新河川法を意識しての水循環的にとらえた環境・利水との関係をどのように扱うか
2. 武庫川づくり全体フローの中でのワーキンググループの位置づけと相互の関係
... 資料：概念図
3. 概念図と連動したフロー C の具体化 ... 村岡委員提案
4. フロー D の位置づけと役割... 資料：概念図
5. 利水WGの早急な立ち上げ
・異常気象の観点から予想される異常渇水、新河川法を意識した水循環等、治水・利水・環境の三本柱の一つとして既に立ち上がったWGや治水と並行して作業を進める必要があるのではないか。そのためには早急な立ち上げが望まれる。

新河川法による武庫川づくり項目概念図



治水： フロー-A・B
・流出解析WT



環境・利水： フロー-C
・利水WG、環境WG、森林・農地WG、まちづくりWG、その他WG



武庫川水循環： フロー-D
・総括WG...武庫川水循環概念によって治水利水環境を編み上げる
(環境バージョンの武庫川づくり提言書作成を目指す)